

# やまなしの福祉

2023 No.371

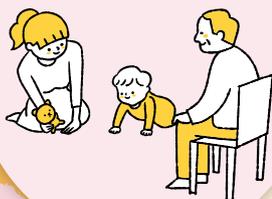
冬

WINTER

- 〈P02〉 特集
- 〈P05〉 やまなし地域福祉応援プラットフォーム  
～孤独・孤立防止への取り組み～
- 〈P06〉 | 第71回 山梨県社会福祉大会
- 〈P07〉 | いきいき山梨ねんりんピック 2023

- 〈P08〉 | 介護福祉総合支援センター
- 〈P09〉 | information
- 〈P10〉 | 赤い羽根街頭募金報告
- 〈P12〉 | 善意をありがとう ほか

## 特集 やまなし地域福祉応援プラットフォーム ～孤独・孤立防止への取り組み～



# だれもがつながり、ともに支え合う 「やまなし地域福祉応援プラットフォーム」

▶ There are many issues that can be solved by "connecting"

## “つながる”ことで解決できる課題がたくさんある

### なぜ今“つながり”が必要なのか？

少子・高齢社会の本格的な到来により、社会の担い手不足、ひとり暮らし世帯の増加、子育てと介護が重なるダブルケア、介護離職などの様々な生活課題が生じており、私たちは、漠然とした不安を感じながら暮らしています。

グローバル化や情報技術の革新は、新たなつながりの形をつくり、便利で快適な暮らしをもたらした一方で、地域コミュニティや年中行事などを通じて暮らしの中で育まれてきた人との関わりや世代を超えた交流などが減少しました。

なかでも、新型コロナウイルス感染症の与えた影響は大きく、様々な孤独・孤立の課題を浮き彫りにしました。社会や地域、人との“つながり”による社会的・精神的なサポートの不足が、課題をより深刻化・複雑化させてしまう状況につながっています。

また、社会とのつながりが少ない状態は、死亡リスクや病気の発症リスクを高めるという複数の研究結果も示されており、社会の中でのつながりや居場所の有無が、健康にも影響することがわかっています。



### 孤独・孤立対策に向けた動き

こうした状況を踏まえ、2021(令和3)年にイギリスに次いで、世界で2番目となる「孤独・孤立対策担当大臣」が任命され、内閣官房に対策室が設置されました。

2022(令和4)年12月に行われた孤独・孤立に関する実態調査では、40.3%の人が孤独・孤立を感じているという結果が示されており、孤独・孤立は、人生のあらゆる場面において、誰にでも起こり得るものであり、社会全体で考えなければならない課題となっています。また、2024(令和6)年4月1日には、孤独・孤立対策推進法が施行され、官民連携による対策を図ることとなりました。

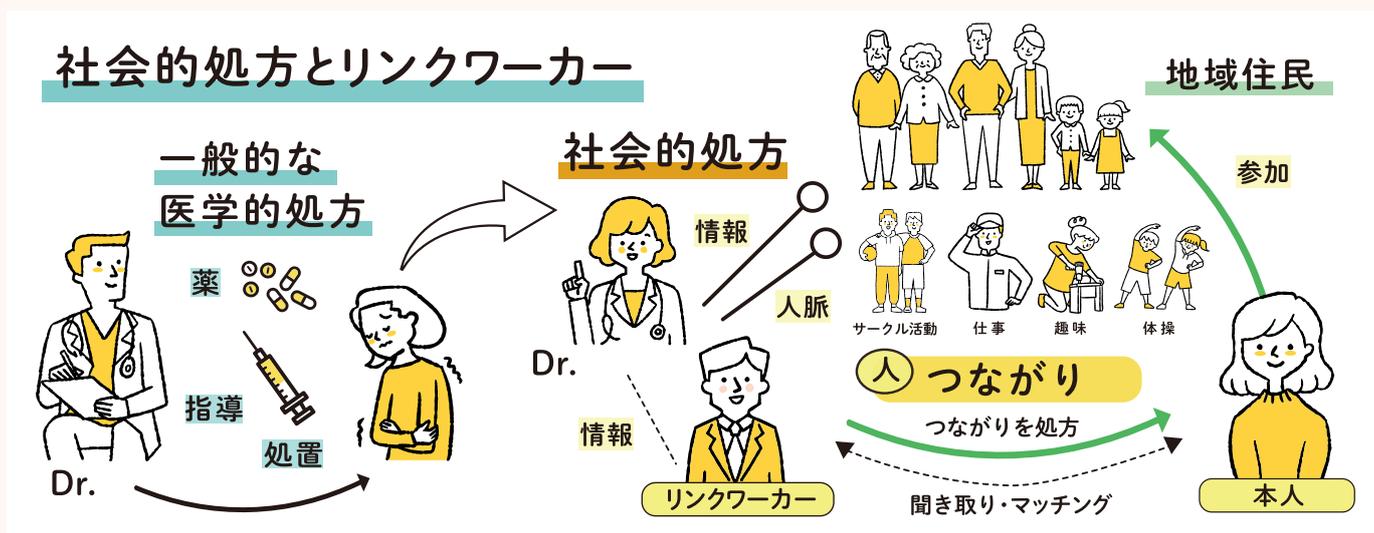
# 地域社会の実現へ

## －孤独・孤立防止への取り組み－

### つながりを生む「社会的処方」という取り組み

こうした課題への対応策として、イギリスが先進的に取り組んでいるのが「社会的処方」です。これは、地域活動（趣味、サークル活動、ボランティア活動など）を「薬」に見立て、「住民＝患者さんの課題に対し、『地域での人のつながり』を処方することで解決する」という考え方です。「リンクワーカー」と呼ばれる人が、実践の中心を担い、住民の生活や興味などをヒアリングし、地域にある活動や人とマッチングする仕組みです。

「地域で行われている様々な活動や人が、誰かの薬になる」という視点は、私たちが孤独・孤立の課題に取り組んでいくうえでのキーポイントとなっています。



▶A place to think about, practice, and support connection together.

## つながりについて一緒に考え、実践し、応援する場所を

### 山梨における取り組み

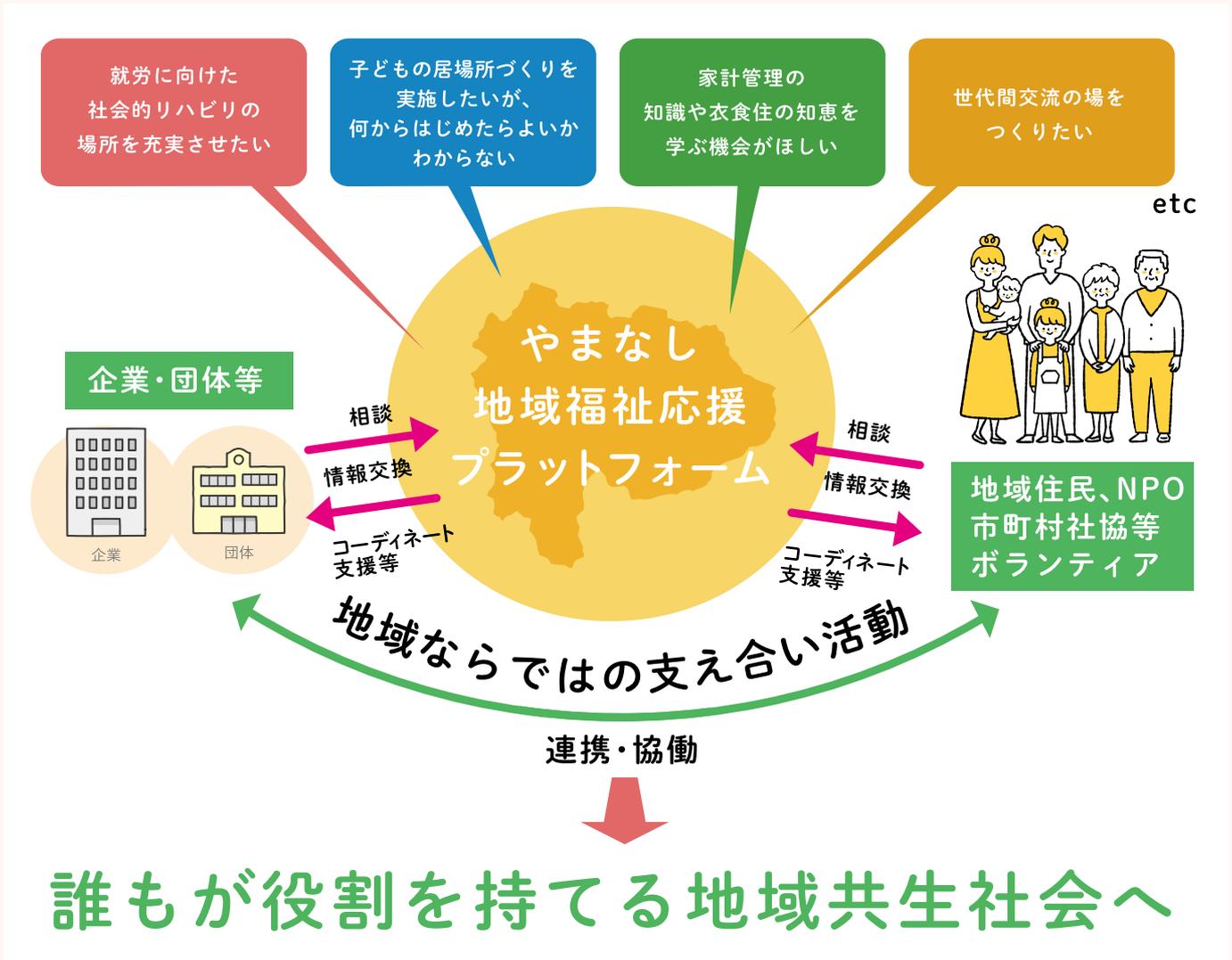
コロナ禍を通じて「社会的つながりの弱さ」から、十分な支援を受けられない人や、何らかの事情があり、自ら声を上げることができない人がいることがわかりました。

こうした現実に向き合い、山梨県社会福祉協議会は、「孤独・孤立を防ぎ、誰一人取り残さない社会を実現する」というビジョンを掲げ、2022（令和4）年度から県の補助を受け「やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業」に取り組んでいます。

地域で行われている様々な地域福祉活動を推進し、活性化していくためのネットワークづくり、人づくり、応援（サポート）体制づくりを通じ、つながりを支える場所をつくりたいと考え、事業の柱の一つとして「やまなし地域福祉応援プラットフォーム」を開設しました。

## 「やまなし地域福祉応援プラットフォーム」とは？

地域生活課題は多様化・複雑化しており、公的な支援だけでは対応が難しく、こぼれ落ちてしまう人々があります。地域の多様な活動者が、それぞれの強みを活かし、こぼれ落ちてしまう“狭間”を減らし、できることの“限界点”を上げていくといった“つながり”によるアプローチが必要です。県社協は、そうしたパートナーシップを発揮する“場”づくりを行います。



## 「やまなし地域福祉応援プラットフォーム」の活動内容は？



山梨県における孤独・孤立の防止への取り組み推進を主旨とし、ともに学び合い・支え合う仕組みづくりを進め、日々の暮らしの中でつながりを感じられるような多様な実践を生み出していきます。

## 主な活動内容

- **やまなし地域福祉フォーラムの実施**  
プラットフォームに参画する協力者が集まり、孤独・孤立に関する課題について学び合い、共通理解を深めていくフォーラムを実施します。
- **ホームページ、SNS での情報発信** ● **定期的な情報交換の実施**
- **ネットワーク支援企業のSDGs活動と福祉分野の活動等をつなげる支援を実施**  
コーディネート支援、相談支援、企業・福祉分野双方への情報提供などを行います。

## プラットフォームへの期待



リコージャパンはSDGsを経営の軸に据え、“働くに喜びを”をビジョンに掲げるなか、このプラットフォームに参加させていただく事により“福祉×SDGs×企業”の輪が広がることをとても楽しみにしております。

特別養護老人ホーム寿荘でのSDGs研修の様子

リコージャパン株式会社 山梨支社

リコージャパンでは、SDGsが目指す「誰一人取り残さない」社会に向けて、多様な働く人、例えば障がい者、シングルマザーなど働くことに困難を抱える人の「はたらく」を支援することで、すべての人の「はたらく喜び」の実現を目指しています。

具体的には「障がい者がアートで夢を叶える世界をつくる」パラリンアートや、NPO法人と連携した若者向けデジタル支援プログラムなどの活動を行っています。



山梨県福祉保健部 福祉保健総務課  
福祉企画・生活保護担当 課長補佐 渡辺智人さん

孤独・孤立は、社会環境の変化により当事者が感じざるを得ない状況に至ったものであり、当事者の自助努力のみに委ねられるべきではなく、官・民・NPOなどの連携により、社会全体で対応することが重要です。本プラットフォームの活動を通じ、誰一人取り残さない地域共生社会の実現に向けて一緒に取り組んでいきましょう。

現代社会における喫緊の課題であることにも関する諸問題を、さまざまな人々と立場を超え、共有していく場所が必要不可欠です。地域で支えあいながら、タイムリーに必要な支援を実行できるような、ネットワークを結べるプラットフォームとなることを期待しております。



NPO法人子どもサポートやまなし 事務局長 木村輝三さん

## プラットフォーム会員を随時募集してます!

やまなし地域福祉応援プラットフォームでは、一緒に考え、活動をともにするプラットフォーム会員を随時募集しています! こんな地域活動をしてみたい、こんなことに誰かと一緒に取り組みめないかなあ? など、世代を問わず地域を豊かにしていく取り組みをみんなで実践し、応援していける場所を、つくっていきたいと考えています。キーワードは

**“ひとりぼっちをつくらない、つながれないをつくらない”。**

ぜひみなさんのできることを持ち寄ってください!

プラットフォームに関する  
要綱&入会申込書は  
右のQRコードから



※参画にあたって、会費等の費用負担は一切ありません。



やまなし地域福祉応援プラットフォーム事務局  
(山梨県社会福祉協議会 コミュニティ再生推進室)

TEL:055-254-8696



# 第71回 山梨県社会福祉大会



11月16日（木）、YCC県民文化ホール・大ホールにて「第71回 山梨県社会福祉大会」を開催しました。

この大会は、本県の社会福祉の発展に功績のあった個人・団体等を表彰し、感謝の意を表することを目的に、年に一度開催しています。

式典では、全体で個人218人、団体18団体に山梨県知事、山梨県共同募金会会長、山梨県社会福祉協議会会長より賞状、感謝状が贈呈されました。受賞されました皆様、おめでとうございます。

また、今回は、3年振りの通常開催として、第2部記念講演として、独立行政法人国立女性教育会館の萩原なつ子理事長に演題「誰一人取り残さない社会へ ひとり一人が主役の地域づくり」をご講演いただきました。参加者からは「今後の活動に役立てたい」「心に響きました。自分は声かけしかできないけど今後も続けます」など、感想をいただきました。



第1部 式典 被表彰者代表謝辞 山梨県知事表彰  
民生委員児童委員 志村 文子さん



第2部 記念講演 講師 萩原 なつ子さん

## 第71回山梨県社会福祉大会被表彰者

### 【 山梨県知事表彰 】

民生委員児童委員74人、社会福祉施設の従事者36人、社会福祉事業団体関係者2人、社会奉仕活動（個人）10人・（団体）2団体

### 【 山梨県社会福祉協議会会長表彰・感謝状 】

表彰 民生委員児童委員6人、民間社会福祉施設役職員31人、民間社会福祉団体役職員31人、優良社会福祉協議会1社協、ボランティア活動（個人）5人・（団体）4団体  
感謝状 公立社会福祉施設職員4人、金品寄付・労力提供（個人）5人・（団体）5団体、特別感謝状（個人）2人・（団体）4団体

### 【 中央共同募金会会長感謝楯・感謝状 】

感謝楯（個人）1名、感謝状（個人）1人・（団体）2団体

# いきいき山梨／ ねんりんピック2023

4年ぶりの一斉開催となりました！

夜からの雨も上がり、爽やかな秋空の下「いきいき山梨ねんりんピック2023」が9月23日(土)に開催されました。

本大会は、スポーツや趣味の交流をとおして、高齢者の健康や生きがい、仲間づくりを目的としており、甲府市・小瀬スポーツ公園をメイン会場とした一斉開催は、4年ぶりとなります。昼には暑いくらいの陽気となり、久しぶりの大会に、選手の皆さんは気持ちのいい汗を流していました。

各会場では、グラウンド・ゴルフやペタンク、卓球、バウンドテニスなどの各種スポーツ交流大会、ゲートボール大会のほか、囲碁や将棋、太極拳など趣味の交流大会も行われ、選手の皆さんは日頃の練習の成果を発揮していました。

スポーツ・趣味の交流大会では、ソフトボール、ボーリング、ターゲット・バードゴルフ、サッカー、フォークダンス、水泳など、別日・別会場で行われた競技もありました。



ペタンク



バウンドテニス



ラージボール卓球



剣道



ゲートボール



サイクリング



ソフトボール



ジョギング



ソフトバレーボール



クイズウォーキング



フォークダンス



囲碁



太極拳



ボーリング



弓道



輪投げ



水泳



サッカー



将棋



グラウンド・ゴルフ



テニス



ターゲット・バードゴルフ

# 見て・触れて・確かめて、介護フェスタ

▶「介護の魅力ひろば」「介護のしごと就職フェア」を同時開催しました!

## 介護の魅力ひろば ▶▶▶

11月11日の「介護の日」に合わせて、県民に高齢者や介護について理解を深めていただくため、11月14日(火)、イオンモール甲府昭和において開催しました。

会場では、県介護福祉士会による介護の日PR活動と脳トレ体験、帝京福祉専門学校の学生によるトーンチャイム演奏、優和福祉専門学校のサシェ(香り袋)づくり体験をはじめ、介護アンバサダーによる介護なんでも相談、けん玉で介護予防、認知症疑似体験、介護ロボットや福祉用具、歩行アシスト体験などを行いました。



このうち、「けん玉で介護予防」では、作業療法士のグループ「甲斐 KENDAMA CREW」による、身体機能低下予防、認知症予防のためのけん玉体験が行われました。

帝京福祉専門学校によるトーンチャイムでは、「きらきら星」など3曲を演奏。トーンチャイムは脳の活性化やリハビリにも効果があり、深みのある響きや伸びやかな音で癒されました。

また、優和福祉専門学校では、サシェづくりを体験しました。サシェはハーブによるリラックス効果や認知症予防の効果が期待でき、授業でも取り入れられています。

来場者からは、「発表や体験を通じて高齢者や介護について理解を深めることができました」「貴重な体験ができて良かった」「また開催して欲しい」など嬉しい感想が寄せられました。



## 介護のしごと就職フェア ～地域別就職相談会 峡中・峡南エリア～ ▶▶▶

3階のイオンホールでは、介護・福祉の職場に就職を希望する方々を対象とした就職相談会を開催しました。峡中・峡南エリアの9つの事業所のブースでは、訪れた求職者の方がそれぞれ採用担当者から募集している職種や仕事内容などの説明を受け、就職に向けた具体的な相談をしました。

参加した法人・事業所の担当者からは、「求職者と話す機会が持てて良かった」「事業内容等を知ってもらえた」「色々な人材に出会えて良かった」などの感想がありました。

山梨県福祉人材センターでは、地域を限定してお仕事を探したい方や自宅に近いところで空いている時間を活かして仕事をしたい方向けに、地域別の就職相談会を開催しています。無資格、未経験の方もお気軽にご参加ください。



今後の予定

**R5年度地域別就職相談会**

開催日/令和6年2月2日(金)

峡中エリア(南アルプス市除く)

お問い合わせ/福祉人材センター 055-254-8654

## 「テクノロジーを活用した業務効率化モデル事業」進捗状況 ▶▶▶

各事業所では、テクノロジーの活用により業務改善が期待できる課題を解決するための介護ロボット・ICTの選定を行いました。現在機器の選定は終了し、マニュアルの作成や職員への周知方法等の検討を行っています。

特別養護老人ホーム 田富荘では、夜勤時のコールとセンサーの対応に伴う業務の多忙感を解消するため、見守り機器を導入することとしました。

機種を選定にあたっては昨年度のモデル施設「介護老人保健施設 旭ヶ丘」を訪問し、見守り機器を運用している現場を見学しました。

導入してから気づいたことや、工夫した点を質問するなど、職員の皆さんは熱心に見学していました。

また、実際の現場を見ることにより、機器選定をする際の比較項目が明確になったとの感想が聞かれました。



介護老人保健施設 フルリール甲府では、職員の移乗介護時の不安の軽減と利用者様の重度化予防のため、統一した移乗介護が行えるよう移乗機器を導入することとしました。

数機種の候補を挙げ、事業所内でデモ機を使った職員勉強会を行い機種を選定を行いました。

その後、導入する機器についてどのような状態の方に機器を使用していくか、どのような場合に使用を中止するか、機器の充電や、保管場所をどこにするかなどを話し合いました。



## 「介護ロボット導入セミナー」▶▶▶

11月8日(水)に、「介護ロボット導入セミナー」を開催しました。

はじめに、株式会社shiori代表取締役・理学療法士の河添竜志郎先生から「介護ロボット導入、活用のメリット・デメリット」について講義をいただきました。

導入すればすぐ現場の課題が解決するというのではなく、介護ロボットを現場に入れることでメリットになることもあれば、メリット実感までに時間や労力が必要な場合が出てくることを学びました。

午後からは、「介護ロボットの紹介」と題し、見守り機器3社、移乗機器2社の担当者から各製品の説明を受けました。

参加者は、実際に機器を試したり、現在の介護記録との連携は行えるのか?利用者に応じた細かい設定は行えるのか?など、熱心に質問をしていました。「本セミナーに参加して、実際に試してみたい」という事業所の声もありました。



## 「介護助手」という働き方 ▶▶▶

介護福祉総合支援センターでは、今年度から山梨県委託事業により「介護助手等普及推進員」を配置しています。

「介護助手」は、福祉施設で介護の資格がなくても働くことのできる職種で、高齢者の方の地域における就労の機会の創出や、健康づくり、生きがいくくり、地域貢献などのメリットがあります。



介護事業所においては、介護助手に配膳・下膳やシーツ交換などの「周辺業務」を任せて、介護職員が本来の介護業務に集中できるなど、業務の効率化や介護人材の確保につながるというメリットもあります。

介護助手の受け入れについては、介護助手等普及推進員がお手伝いをします。お気軽にご相談ください。



自宅の近くで

短時間でも

できる範囲で

介護福祉総合支援センター  
(介護支援センター)

電話 055-254-8680

# 赤い羽根共同募金「街頭募金活動」

## 募金のご協力ありがとうございました!

山梨県社会福祉協議会では、10月2日～4日の3日間、県内の福祉団体・施設の皆様にご参加をいただき、甲府駅南口・北口を中心に赤い羽根共同募金街頭募金活動を実施いたしました。

期間中、延べ49団体・106名の方々にご協力いただき、141,887円の募金が集まりました。

ご協力いただきました募金は、山梨県共同募金会から配分され、様々な福祉活動や災害時の支援に役立てられます。



### 令和5年度街頭募金活動参加協力団体(順不同)

(福)友和会ホフト甲斐、(福)ハケ岳名水会春の陽・菜の花、(特非)心音会ほこあぼこリベルタ、(福)あそびじゅく茅工房、(福)ぶどうの里GH甲府、(福)ハケ岳名水会星の里、(福)双葉鳳雛福祉会光学園、オカリナ・メイプル、グランドソフトボールを支援する会、(福)山梨福祉事業会清山寮、(福)ハケ岳名水会陽だまり、(福)宮前福祉会つつじが崎学園、甲府市ガイドヘルパー「わの会」、山梨県健康生きがいづくりアドバイザー協議会、(福)和告福祉会和告寮、(福)甲府市民生福祉会春風寮、(福)山梨県社会福祉事業団もえぎ寮、(福)愛寿会障害者支援施設第二仁生園、(福)ぎんが福祉会ぎんが工房、(福)光風会甲州市鈴宮寮、(福)くにみ会ゆあーずあんどゆうず、(福)深敬園ふじかわどりいむ、(福)アドバンススイートベリー-KATUYAMA、(一社)山梨県老人クラブ連合会、山梨県愛育連合会、(一財)山梨県母子寡婦福祉連合会、(福)山梨県障害者福祉協会、(一社)山梨県身体障害者連合福祉会、(一社)山梨県視覚障がい者福祉協会、(特非)山梨県精神障害者家族会連合会、山梨県自閉症協会、(特非)山梨いのちの電話、(一社)日本ALS協会山梨県支部、(福)ハケ岳名水会キッズクラブひまわり、(福)子育て・発達の里乳児院ひまわり、山梨県さずな会、山梨県肢体不自由児協会、山梨県保育協議会、山梨県児童生徒救援委員会、山梨県民生委員児童委員協議会、(福)明照福祉会幼保連携型認定こども園誓和保育園、(福)上野原若鮎会障害福祉サービス事業所わかあゆ工房、リズムオブラブ、蓬沢いきいきサロン、(特非)楽しく笑って人生を過ごす山梨手話の会

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

# ボランティア活動保険



**保険金額・年間保険料（1名あたり）** 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

| 保険金の種類        |                      | プラン                   |            |            |
|---------------|----------------------|-----------------------|------------|------------|
|               |                      | 基本プラン                 | 天災・地震補償プラン | 特定感染症重点プラン |
| ケガの補償         | 死亡保険金                | 1,040万円               |            |            |
|               | 後遺障害保険金              | 1,040万円(限度額)          |            |            |
|               | 入院保険金日額              | 6,500円                |            |            |
|               | 手術保険金                | 入院中の手術                | 65,000円    |            |
|               |                      | 外来の手術                 | 32,500円    |            |
|               | 通院保険金日額              | 4,000円                |            |            |
|               | 特定感染症                | 補償開始日から10日以内は補償対象外(*) | 初日から補償     |            |
| 地震・噴火・津波による死傷 | ×                    | ○                     | ○          |            |
| 賠償責任の補償       | 賠償責任保険金<br>(対人・対物共通) | 5億円(限度額)              |            |            |
| 年間保険料         |                      | 350円                  | 500円       | 550円       |

商品パンフレットは  
こちらから



(ふくしの保険  
ホームページ)

\*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

## <重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

**ボランティア行事用保険** (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

**送迎サービス補償** (傷害保険)

**福祉サービス総合補償**  
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL:03(3349)5137  
受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667  
受付時間:平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

善意をありがとう Thank you for your good will.

(株)ツルハホールディングス様、  
クラシエホームプロダクツ(株)様、  
クラシエ薬品(株)様  
車いすの寄贈



(株)ツルハホールディングス様(鶴羽順 代表取締役社長)、クラシエホームプロダクツ(株)様(岩倉昌弘 代表取締役社長執行役員)、並びにクラシエ薬品(株)様(代表取締役社長 大西重樹)より、車いす3台を県内2カ所の福祉施設へ寄贈いただきました。

ツルハグループ店舗で共同してキャンペーンを行い、その売上げの一部で車いすを購入し、各県の社会福祉協議会、福祉施設等に寄贈いただいています。本県では、今回で12回目となり、寄贈台数は合計で103台となりました。

ありがとうございました。

一般社団法人生命保険協会山梨県協会様  
車いす用体重計等の寄贈



一般社団法人生命保険協会山梨県協会様(金子知弘 会長)より、車いす用体重計を社会福祉法人山梨県社会福祉事業団へ、非常用備蓄食料を社会福祉法人さくら会へそれぞれ寄贈いただきました。

生命保険協会山梨県協会様は、CR活動(地域との連帯・社会貢献)として、平成4年度より会員各社で「ふれあい募金」を実施し、集められた浄財を原資にして、寄贈いただいております。

車いす用体重計は11台目、備蓄用食料は3年連続となります。

ありがとうございました。

NEWS

読者アンケートのお願い

今後の広報誌づくりの参考にさせていただくため、アンケートにご協力をお願いいたします。

QRコードよりご回答ください。



広報誌「やまなしの福祉」は、本会ホームページでPDF版をご覧いただけます。バックナンバーの閲覧もできますので、ぜひご活用ください。

<http://www.y-fukushi.or.jp>

ここから  
チェック!!



お知らせ  
Notice

やまなしの福祉は年4回の発行とさせていただきます。次号は3月下旬発行予定です。

ご利用している福祉サービスについて

「こうしてほしい」  
と思いませんか?

「なおしてほしい」  
と望んでいませんか?

山梨県福祉サービス運営適正化委員会が  
疑問・要望などのご相談に応じます。

山梨県福祉サービス運営適正化委員会

住所 甲府市北新1-2-12 県福祉プラザ4階  
受付時間 平日 午前8時30分～午後5時15分  
電話 055-220-3030

この広報誌の作成費用の一部に  
赤い羽根共同募金配分金を充てています。

